

たと見るが考えを聞く。  
**市長** 住宅市場は大きく変化し、多くの空き室が発生している。時代の流れの中で、役割が変わってきたと認識している。  
**議員** ニーズに合わせた市民住宅の位置付けの変更や所得制限の緩和により、空き室の活用を図るべきだ。

**市長** 都や国の承認、住宅供給者の同意等が必要であり、これまでの協議の中では難しいと考えている。  
**議員** 住宅確保に配慮が必要なら人々への支援を視野に入れた、居住支援協議会の設置について見解を伺う。

**議員** 都市整備部調整担当部長 効果的な住宅政策のあり方を検討する中で、今後の課題としたい。  
**議員** URや事業者等と連携した空き室活用を含め、今後の住宅施策全体の方向性について所見を伺う。  
**都市整備部調整担当部長** 住宅施策における福祉の部分と快適な居住環境の部分について庁内でよく連携・情報交換しつつ、国の制度等も研究していきたい。

### 国の税制改正に対し 市として問題提起し続けよ

無所属 半田 伸明 議員



**議員** 平成28年度以降の税制改正で1兆円規模の法人住民税を国税化し、地方交付税交付金の原資として更なる税源移譲を目指すとの報道があった。一方、実質無借金自治体が増えたとの報道もあった。この二つの報道について所見を聞く。

**市長** 地方交付税不交付団体が富裕だという間違った前提のもとで、地方間で税財源を調整するという考え方は大いに問題がある。まずは、総体としての地方財源の拡充こそが重要だ。  
**議員** 法人住民税国税化が実施された場合の本市への影響及び都の市町村総合交付金への影響を聞く。

**企画部長** 本市への影響は、詳細な情報が示されていないため、答弁は差し控える。都の交付金については、都の税収動向は懸念材料であるが、都市長会を通じ、要望を継続したい。  
**議員** 財政調整をやめるよう国に求めていくべきだ。都や他自治体と連携した要請活動の検討状況を聞く。

**市長** 都、都市長会、都特別区長会、都町村会と連携し、総務大臣へ共同要請活動を行った。引き続き要請活動に加わっていききたい。

### 補聴器購入の助成制度導入で 高齢者への生活支援を



やさしい市政へ 伊沢 けい子 議員

**議員** 年金支給額の減少や介護保険料の引き上げ等、高齢者を取り巻く生活環境はかつてなく厳しい。高齢者の生活環境の悪化について、どう認識しているか。

者の生活環境の悪化について、どう認識しているか。  
**市長** 単に経済的な問題だけでなく、今後の生活に様々な不安を抱えていることが高齢者の実態調査からも明らかになっている。  
**議員** 本市の生活保護受給者のうち60歳以上の高齢者の人数は半数を超えており、年々増加している。増加の理由をどのように分析しているのか伺う。

**市長** 高齢者人口の増加や家族関係の変化等の問題があると考えている。退職に伴う減収等から生活保護の申請につながることも多く、今後も増加傾向は避けられないと認識している。  
**議員** 補聴器は高額なため年金で賄うのは難しく、日常生活に支障を来しているも購入を諦めざるを得ない人もいる。中等度の難聴の高齢者への補聴器購入の助成制度を導入すべきだ。

**健康福祉部調整担当部長** 助成制度の導入は、現時点では考えていないが、優先度をしっかりと見極めて、今後、検討していく。



高齢者支援課の窓口

### 学校外での事故に備えて バイスタンダー育成に努めよ

維新の党 増田 仁 議員



**議員** 市立小・中学校における平成26年度の事故の内訳は、骨折・捻挫等23件、打撲・切り傷24件、やけど・歯や目の負傷17件だった。これらの発生リスクを除去する取り組みについて伺う。  
**教育長** 授業や行事に当たり指導計画を作成し、部活動には必ず指導員が立ち会うこととしている。

**議員** 骨折や多臓器不全などの重大事故にもつながる熱中症については、件数の把握をしているか。  
**教育部長** 統計をとっておらず、把握していない。  
**議員** 中学3年生で実施している救命講習を、小学生や保護者も受講できれば、

り、年々増加している。増加の理由をどのように分析しているのか伺う。  
**市長** 高齢者人口の増加や家族関係の変化等の問題があると考えている。退職に伴う減収等から生活保護の申請につながることも多く、今後も増加傾向は避けられないと認識している。  
**議員** 補聴器は高額なため年金で賄うのは難しく、日常生活に支障を来しているも購入を諦めざるを得ない人もいる。中等度の難聴の高齢者への補聴器購入の助成制度を導入すべきだ。

**健康福祉部調整担当部長** 助成制度の導入は、現時点では考えていないが、優先度をしっかりと見極めて、今後、検討していく。

事故発生時にバイスタンダー（救急現場に居合わせた人）として応急手当等の対応ができることを考える。  
**教育長** 学校活動には講習を受けた教員等が必ず引率しており、当面は受講者の拡大は考えていない。  
**議員** 事故の抑止や対応に当たる教職員の業務負担を、可能な限り軽減しなればならない。校務支援システムの機能を追加し、業務効率化に努めるべきだ。  
**教育長** 業者側に開発を要望しつつ検討を続ける。

## 委員会の活動

平成27年10月～12月

### 総務委員会

11月13日  
**【行政視察】**  
 ▼新川防災公園・多機能複合施設（仮称）  
**【行政報告】**  
 ▼第4次三鷹市基本計画第1次改定骨格案における市民参加について ほか1件  
 12月8日、11日  
**【議案】**  
 ▼平成27年度三鷹市一般会計補正予算（第3号）  
 ▼平成27年度三鷹市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）  
 ▼平成27年度三鷹市下水道事業特別会計補正予算（第2号）

### 文教委員会

11月13日  
**【行政報告】**  
 ▼「三鷹市教育ビジョン2022」の改定について  
 ▼三鷹市川上郷自然の村の今後のあり方に関する方針について  
 ▼高山小学校の今後の学級数増加への対応について  
 ▼三鷹市公共施設における旭化成建材(株)施工の杭工事について ほか5件  
 12月11日  
**【議案】**  
 ▼三鷹市立アニメーション美術館の指定管理者の指定について 原案可決

### 厚生委員会

確認について  
 11月17日  
**【行政報告】**  
 ▼三鷹市公共施設における旭化成建材(株)施工の杭工事について ほか2件  
 12月9日  
**【議案】**  
 ▼三鷹市立保育園設置条例の一部を改正する条例  
 ▼三鷹市市民医療費支援金支給条例を廃止する条例  
 ▼三鷹市地区公会堂条例の一部を改正する条例  
 ▼大沢コミュニティ・センター等の指定管理者の指定について 以上4件、原案可決

### まちづくり環境委員会

11月17日  
**【行政報告】**  
 ▼厚生委員会審査報告書の確認について  
 ▼「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）中間のまとめ」パブリックコメントの結果概要について ほか1件  
 12月10日  
**【議案】**  
 ▼三鷹市立児童遊園条例の一部を改正する条例  
 ▼三鷹市営住宅条例の一部を改正する条例 以上2件、原案可決

### 東京外郭環状道路調査対策特別委員会

12月14日  
**【行政報告】**  
 ▼北野の里（仮称）まちづくり方針（案）について  
 ▼外環整備に伴う安全・安心のまちづくり連絡協議会（平成27年度第3回）について  
 ▼外環事業の取り組み状況について  
 ▼調布飛行場周辺利用及び安全対策特別委員会  
 12月15日  
**【行政報告】**  
 ▼調布基地跡地利用計画の経過について  
 ▼調布基地跡地利用の整備状況について  
 ▼調布飛行場付近における航空機事故について  
 ▼株式会社東京スタジアムの経営状況等について ほか2件

会派名は、一般質問が行われた時点での名称で表記しています（一面参照）。  
**議員** 三鷹市立小・中学校における平成26年度の事故の内訳は、骨折・捻挫等23件、打撲・切り傷24件、やけど・歯や目の負傷17件だった。これらの発生リスクを除去する取り組みについて伺う。  
**教育長** 授業や行事に当たり指導計画を作成し、部活動には必ず指導員が立ち会うこととしている。  
**議員** 骨折や多臓器不全などの重大事故にもつながる熱中症については、件数の把握をしているか。  
**教育部長** 統計をとっておらず、把握していない。  
**議員** 中学3年生で実施している救命講習を、小学生や保護者も受講できれば、

り、年々増加している。増加の理由をどのように分析しているのか伺う。  
**市長** 高齢者人口の増加や家族関係の変化等の問題があると考えている。退職に伴う減収等から生活保護の申請につながることも多く、今後も増加傾向は避けられないと認識している。  
**議員** 補聴器は高額なため年金で賄うのは難しく、日常生活に支障を来しているも購入を諦めざるを得ない人もいる。中等度の難聴の高齢者への補聴器購入の助成制度を導入すべきだ。  
**健康福祉部調整担当部長** 助成制度の導入は、現時点では考えていないが、優先度をしっかりと見極めて、今後、検討していく。